

ものづくり

ものづくりの基本は、Q(品質)C(コスト)D(納期)です。
この3つの要素をどう管理し、改善するかがものづくり
企業のパフォーマンスを決定します。

@bridge consulting



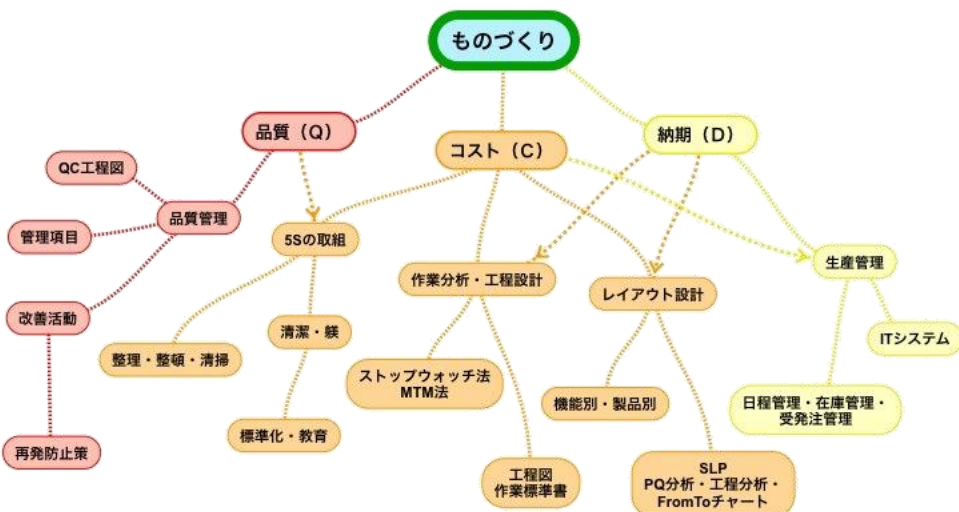
ものづくりの課題整理

- ものづくりの基本は、Q(品質)・C(コスト)・D(納期)です。
- この三つの要素をどう管理し、改善するかがものづくり企業のパフォーマンスを決定します。
- 具体的な活動には、
 - ◆ 「5Sの取り組み(QC)」
 - ◆ 「作業分析・工程設計(QC)」
 - ◆ 「レイアウト設計(CD)」
 - ◆ 「生産管理(CD)」、「在庫管理(CD)」
 - ◆ 「品質管理(Q)」

などがあり、その企業の事業戦略によって、あるいは市場・競合環境やその企業の特性によって、最適なアプローチ方法が様々に異なります。

@bridge consulting

ものづくりの要素



様々な取組

- 5Sの取り組み
 - ◆ 誰もが知ってる5S(整理・整頓・清掃・清潔・整)ですが、現場にあった展開が必要です。
 - ◆ 作業の標準化や品質管理項目との連動がポイントです。
- 作業分析・工程設計
 - ◆ 作業分析・工程設計と言え、ストップウォッチ法やMTM法など様々な理論・手法がありますが、どれを使えばいいのでしょうか。教科書のようにはいきません。
 - ◆ まずは、全体工程図、および重要工程の作業標準を作成し、作業実績の収集と分析・改善から始めましょう。
- 工場レイアウト
 - 繰返し生産か個別受注生産か、製品別ラインなのか持ち回り工程なのか、などなどまず、その現場の特性を理解し基本レイアウトを決定します。
 - SLP(Smart Layout Planning)が有名ですが、実際のものづくりの現場では様々な制約がある中で、最適な妥協(?)の解を探すことになります。

様々な取組

■ 品質管理

- ◆ 製造現場の品質確保には、個別作業品質の管理項目と、設備や工程品質維持のための管理項目があります。これらをQC工程図や作業標準書で規定し管理することが重要です。
- ◆ 工程内不良率の増加は、市場不適合の可能性を増加させます。検査で不良流出を防止するだけでなく、品質を作り込む仕組みとマインドが重要です。
- ◆ 管理項目に対する、継続的・組織的な改善活動が欠かせません。
- ◆ QCサークル活動も有効な場合があります。

■ 生産管理

- ◆ ものづくりにおけるコスト・納期を確保するため、生産日程管理、受発注管理、在庫管理などの機能が必要です。
- ◆ 生産管理には、IT化の検討を避けて通れませんが、一般に個別の企業向け専用システムとなり導入コストを賄いきれないことがよくあります。汎用の機能をうまく利用した方式も検討するべきです。

詳細はお問い合わせください。

consulting@hashimukai.com